

めぶきアセアンレポート

MEBUKI ASEAN REPORT

2020年1月号

- ◇ 【 バンコク通信 】～栃木県のプロモーションイベントの紹介～ P. 1
- ◇ 【 ホーチミン通信 】～2020年度ベトナム最低賃金～ P. 3
- ◇ 【 アセアン駐在員コラム 】 P. 5
- ◇ 【 アセアン各国株式市場・為替情報 】2019年12月の動き P. 7
- ◇ 【 アセアン各国ニューズピックアップ 】 P. 8
- ◇ 【 アセアン・インド休日情報 】2020年1月～2020年3月 P. 9
- ◇ 【 めぶきアジアネットワークのご紹介 】 P. 10

常陽銀行シンガポール駐在員事務所
63 Market Street #11-03
Bank of Singapore Centre,
Singapore 048942
TEL:65-6225-6543

常陽銀行ハノイ駐在員事務所
5th Floor, Sun Red River,
23 Phan Chu Trinh Street,
Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam
TEL:84-24-3218-1668

足利銀行バンコク駐在員事務所
689, Bhiraj Tower at EmQuartier,
27th Floor, Room No.2714,
Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana,
Bangkok 10110, Thailand
TEL:66-2-261-2852

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願い致します。



バンコク通信～栃木県のプロモーションイベントの紹介～

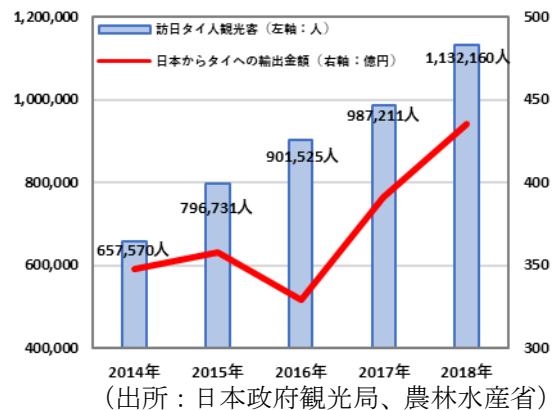
2019年12月、栃木県の福田県知事をはじめとする県の経済ミッション団がベトナム・タイを訪問し、観光や県産品のプロモーションイベントを実施しました。そこで今回は、プロモーションイベントの内容をレポートします。

1. はじめに

タイ人の訪日観光客数は近年増加傾向にあり、足元の実績では年間100万人を突破する水準まで増加しています(表1)。日本を複数回訪れたことがあるリピーターの数も増加しており、最近では、主要都市だけではなく、地方の観光地が旅行スポットとして人気を集めています。また、タイ人の中には果物・野菜を中心に美味しい食べ物が多くあると評判です。そのため日本食品への需要も高く、日本からタイへの食品輸出金額についても近年高水準を維持しています。

このような需要取り込みを図るために、日本の各自治体や事業者はタイで積極的にプロモーションを行っています。

【表1: 訪日タイ人観光客数と食品輸出金額の推移】



2. 「とちぎの観光・グルメセミナー2019」について

栃木県は、12月19日～12月21日の全3日間の日程で、タイ・バンコク市内で観光や県産品のプロモーションイベントを実施しました。

「とちぎの観光・グルメセミナー2019」は、2日間開催され1日目は在タイ栃木県出身者や進出企業を対象に、2日目はタイ現地バイヤーや観光事業者向けに実施されました(写真1)。また、最終日にはバンコク市内の商業施設にてプロモーションブースが出展され、福田県知事による一般消費者向けトップセールスが行われました(写真2)。セミナーでは県産品ブースが設置され、栃木県のお米「とちぎの星」を使用したおにぎりや、栃木ブランド梨「にっこり」などが参加者に振舞われ、栃木県の食品や観光地の特徴や魅力についての紹介が行われました。開催初日に足利銀行もセミナーに参加し、会場には多くのタイ栃木県人会のほか、在タイ日本国大使館の職員等約120名が集まり、セミナーは終始盛況な雰囲気です。栃木県の魅力、実力をあらためて確認するとても良い機会となりました。

【写真1: セミナーの様子】



【写真2: ブースの様子】



3. 日本酒製造メーカーとタイ現地企業のビジネスマッチングイベント

(1) 日本酒のタイでの普及状況

タイでは日本食人気とともに日本酒の普及が進んでいます。日本酒を提供する飲食店の話によれば、タイで暮らす日本人が多いことも普及要因の一つですが、最近では日本酒を楽しむタイ人が増加していることも、タイでの日本酒人気を後押ししているとのこと。

しかし、タイで日本酒が普及する一方、栃木県の酒の産地としての印象は未だタイ人の間では深く浸透しておらず、現状では、栃木県の日本酒は数銘柄の販売のみにとどまっています。

(2) ビジネスマッチングイベントの概要

プロモーションイベントに参加した栃木県の日本酒製造メーカー4社は、タイ現地の食品プロモーターや飲食店を集めて、ビジネスマッチングイベントを開催しました（写真3）。

タイの酒類の輸入に関しては、1銘柄につき輸入業者が1社に限定され、独占販売となる規定があるため、タイでお酒の販売を行っていくうえでは、現地の有力なパートナーを選定する必要があります。そのため、タイへの輸出を検討する酒造メーカーにとっては、現地で綿密なリサーチ・情報収集を行うことが重要です。

ビジネスマッチングイベントでは、タイ語に翻訳された紹介資料を使い、栃木県の日本酒の特徴や日本酒製造メーカーによる商品説明が実施されました。また、タイ人の日本酒に対するイメージや嗜好、想定する販売価格帯など、今後の取引開始に向けた情報交換が行われました（写真4）。

参加したタイ企業からは、「栃木県の日本酒に興味を持つことができたので、日本を訪問した際には栃木県の日本酒を飲んでみたい」、「経営する飲食店で栃木県の日本酒の販売を検討したい」などの意見があり、イベントを通して栃木県の日本酒を効果的にPRすることができました。

4. おわりに

海外からの観光客誘致や、日本食品の輸出拡大を図ることは、地方活性化に繋がる重要な取り組みであると考えます。タイ人は日本への関心が高く、現地でのプロモーションは効果的であることから、今後についてもプロモーション活動のサポートや情報発信に努めてまいります。

以上

【足利銀行バンコク駐在員事務所 駐在員 塚本 修平】

【写真3：マッチングイベント】



【写真4：栃木県の日本酒紹介資料】



ホーチミン通信～2020年度ベトナム最低賃金～

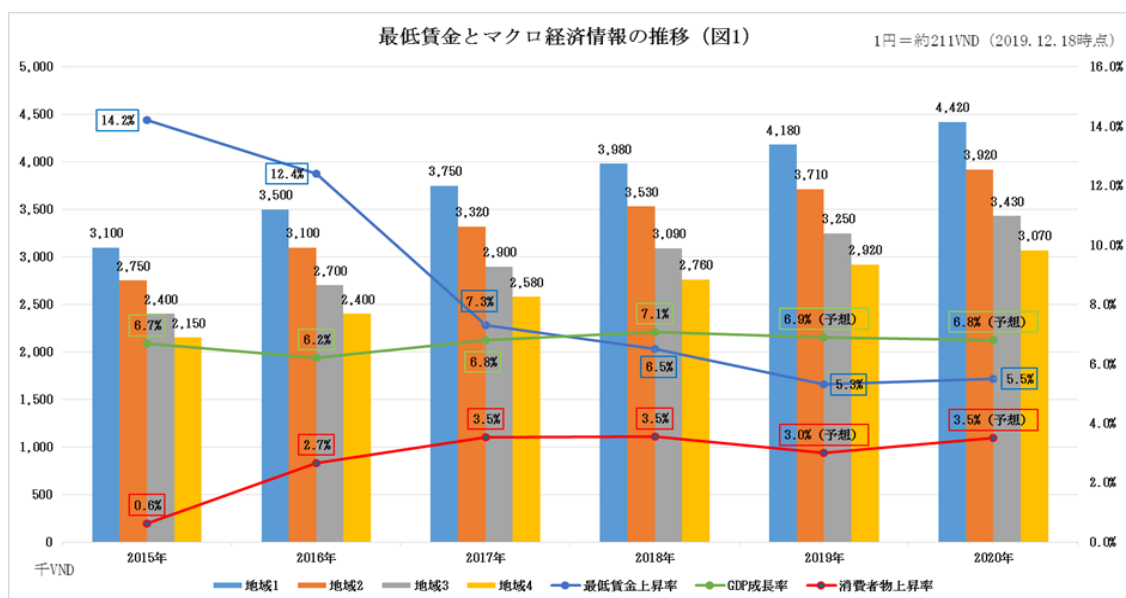
ベトナム政府は、2019年11月15日に最低賃金に関わる政令90号(90/2019/ND-CP)を公布し、2020年1月1日より新しい最低賃金が適用されます。企業は最低賃金を用いて、各従業員の基本技能と経験に基づいて給与を計算しているため、毎年見直される最低賃金は重要な指標です。今回のレポートでは、最低賃金についてレポートします。

1. ベトナム最低賃金政令公布までの流れ

労働者を代表する「ベトナム労働総同盟(VGCL)」、経営者を代表する「ベトナム商工会議所(VCCI)」、行政省庁である「労働・傷病兵・社会省」の3組織で構成される国家賃金評議会が毎年6月頃(2019年は6月14日)から複数回の協議を行い、7月頃(2019年は7月11日)に翌年の最低賃金案を政府に提出します。その後、11月中旬以降(2019年は11月15日)に政令が公布され、翌年の1月1日から新たな最低賃金が適用されます。

今回の交渉では当初、VGCLは最低賃金の引き上げ幅の根拠として①GDP成長率7% ②消費者物価上昇率4% ③労働生産性の向上5%との見通しを挙げ、前年比6.52～8.18%最低賃金を引き上げるよう主張していました。一方で、VCCIは昨年過去最低となる5.3%の最低賃金の引き上げで妥結したにもかかわらず、実際には7割を超える企業が6%以上の賃上げを実施したことから、2020年度は引き上げ幅を抑えた3%未満にとどめるよう主張していました。協議の結果、両者のおおよその中間点である5.5%の最低賃金の引き上げに落ち着き、最低賃金に関わる政令90号が適用されています。

2. ベトナムの最低賃金とマクロ経済情報



【JETRO 資料・アジア開発銀行 (ADB) 資料を基に作成】

国家賃金評議会が最低賃金を決定する際に参考とするマクロ経済情報と最低賃金の過去の推移は(図1)の通りです。2015年度以降最低賃金上昇率(4地域の平均)とGDP成長率、消費者物価上昇率の差は縮小しています。最低賃金の上昇率が緩やかになる一方で、2016年のThe Global Living Wage Coalitionの生活にかかる調査ではホーチミン市都市部で

生活するには4人家族で6,000千VND以上の支出が必要との見方もあり、今後もマクロ経済指標以上の最低賃金の上昇は続くものと予想されます。

3. ベトナム主要工業団地最低賃金対照表

ベトナムでは、経済の発展度合いに応じて最低賃金を4つの地域に分類しています。主要工業団地における最低賃金を調査した図が下記です。地域は毎年見直しが行われているため、入居している工業団地がどの地域に属しているか毎年確認を行う必要があります。

	北部主要工業団地	中部主要工業団地	南部主要工業団地
地域1	Noi Bai工業団地、Quang Minh工業団地、Thang Long工業団地、Thach That-Quoc Oai工業団地 等（ハノイ市） Nomura Hai Phong工業団地、VSIP Hai Phong工業団地、Deep C工業団地 等（ハイフォン市）	無	Xuan工業団地、Linh Trung I・II工業団地、Tan Thuan工業団地、Vie-Pan Techno Park 等（ホーチミン市） AMATA工業団地、Le Minh工業団地、Long Duc工業団地、Loteco工業団地、Long Thanh工業団地、Nhon Trach1～6工業団地 等（ドンナイ省） Maple tree Business city、Bau Bang工業団地、My Phuoc I～IV工業団地、VSIP1～3工業団地 等（ビンズン省） Phu Myl工業団地 等（バリア・ブントウ省）
地域2	Binh Xuyen工業団地、Khai Quang工業団地 等（ヴァンフック省） Que Vo I工業団地、VSIP Bac Ninh工業団地 等（バクニン省）	Hoa Khanh Extended工業団地、Hoa Cam工業団地、Lien Chieu工業団地、Da Nang Hi-tech Park 等（ダナン市）	KIZUNA工業団地 I～III、Long Hau工業団地、Phu An Thanh工業団地、Phuc Long工業団地、Tan Duc工業団地 等（ロンアン省） Dong Xoai I～III工業団地 等（ビンフック省） Hung Phu I工業団地 等（カントー市） Tan Huong工業団地 等（ティエンザン省） Thanh Thanh Cong工業団地 等（タイニン省） An Hiep工業団地、Giao Long工業団地 等（ベンチェ省）
地域3	Dong Van I～IV工業団地 等（ハナム省）	Dien Nam-Dien Ngoc工業団地、Dong Que Son工業団地、Tam Hiep工業団地 等（クアンナム省） Ninh Thuy工業団地、Suoi Dau工業団地 等（カインホア省） Phong Dien工業団地、Phu Bai工業団地 等（トゥアティエン・フエ省） VSIP Quang Ngai工業団地 等（クアンガイ省） Nam Cam工業団地、VSIP Nghe An工業団地、WHA Hemaraj工業団地 等（ゲアン省）	Hoa Phu工業団地 等（ビンロン省） Long Giang工業団地 等（ティエンザン省）
地域4	Tien Hai工業団地 等（タイピン省） Mai Son工業団地 等（ソララ省）	Phu Tai工業団地 等（ピンディン省）	Song Hau工業団地 等（ドンタップ省） Tran De工業団地、Tran Quoc Toan工業団地 等（ソクチャン省）

【政令 90 号 (90/2019/ND-CP) ・ JETRO 資料 ・ Sufex Trading 社資料を基に作成】

4. まとめ

最低賃金は、毎年の従業員の給与の改定を行う際に一つの参考となる情報です。また、海外へ進出を検討する際に他国とコストを比較する指標であるとも言えます。注目されるトピックスであり、今後も定期的に情報発信をしていきます。

以上

【ヴィエティンバンク ホーチミン駐在 大森 純希】

アセアン駐在員コラム

アセアン駐在員コラムでは、東南アジア各国で生活している駐在員や現地スタッフからの情報を毎月発信しています。



【シンガポール】～デンプシーヒル～

シンガポールのお洒落スポットとして注目されているのがデンプシーヒルです。かつてナツメグ農園として栄えた後、イギリス植民地時代には軍用施設として使用されていました。2007年頃から再開発が進み、多数のカフェ、レストラン、アンティークショップが集まる新たなスポットに生まれ変わりました。旧時代の歴史的遺産の街並みと新時代の文化が融合し、ローカル人や現地在住外国人からも人気スポットとして一目置かれています。有名観光地のオーチャードエリアから車で10分程度の場所に位置しており、近隣には世界遺産のボタニックガーデンがあるなど、緑に囲まれた癒しの空間になっています。都会の喧騒を離れて、緑溢れる中で食事や散歩が出来るのがデンプシーヒルの最大の魅力です。シンガポールへお越しの際に、足を運んでみてはいかがでしょうか。

【デンプシーヒル】



(常陽銀行シンガポール駐在員事務所 現地スタッフ 関 順)




【ベトナム】～サッカー観戦～

ベトナムで一番人気があるスポーツはサッカーです。特にベトナム代表戦が行われる際は街中が盛り上がり、ベトナム人が試合を観戦する方法としては、直接試合会場で観戦する、自宅でテレビを見る、喫茶店や飲み屋、また公共の場でパブリックビューイングするなど様々です。先日フィリピンで開催された第30回ASEAN競技大会（SEA Games）では、ベトナム代表戦が行われる時間に合わせて、ハanoi中心地の観光名所であるオペラハウスの前に大型のスクリーンが設置され、大勢のファンが集まりベトナム代表を応援しました。ベトナムではテレビを持っていない若者も多く、無料開放されるパブリックビューイングはとても人気があります。私も自宅にテレビがないので、このような場で大勢のサポーター達と盛り上がりながらサッカー観戦でき、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

【パブリックビューイングの様子】



(常陽銀行ハanoi駐在員事務所 現地スタッフ グェン ティ トウイ)


【タイ】～タイとカンボジアの国境～

2019年5月にタイとカンボジアの間の鉄道が約45年ぶりに開通したこともあり（運行開始は未定）、両国の国境の街に注目が集まっています。

タイ側の国境の街「アランヤプラテート」は、巨大なローカル市場があることで有名です。また、カンボジア側の国境の街「ポイペト」は、カジノがあるホテルが密集していることで有名ですが、近年は工業団地の開発が進んでいることでも注目を集めています。どちらの街も未だ発展途上であり、都市部には無い東南

アジアのローカルな雰囲気を感じることができる地域となっています。アクセスについてはバンコクから東へ約250kmに位置しており、電車やバスでのアクセスが可能です。日本は島国であり馴染みがありませんが、タイは他国と陸続きで隣接しているため、陸路で国境を超えることが可能です。タイからカンボジアへ移動する際には、陸路での国境越えを経験してみたいはいかがでしょうか。

（足利銀行バンコク駐在員事務所 駐在員 塚本 修平）

【カンボジア側から撮影した国境の駅】


【フィリピン】～クリスマス事情～

フィリピンでは9月になると「Ber Months」という言葉を耳にします。フィリピンでは「Ber」が付く月（September、October、November、December）は、クリスマスの準備期間と認識されています。そのため、フィリピンは「世界一クリスマスが長い国」と言われています。フィリピン人にとってのクリスマスシーズンは9月～2月までであり、実に半年近くもクリスマスシーズンが続きます。フィリピンでは国民の10人に1人が海外で働いており、海外で働く誰もが12月のクリスマスシーズンに帰国出来るとは限りません。少しでもシーズンを長くして、海外で働いている人が家族や友人と一緒にクリスマスが祝えるようにしたことが「世界一クリスマスが長い国」となった理由だと言われています。日本では経験できないクリスマスをフィリピンで味わってみてはいかがでしょうか。

【「Parol : パロル」】

（伝統的なイルミネーション）



（BDOユニバンク マニラ駐在 鶴見 圭史）

アセアン各国株式市場・為替情報（12月）

アセアンの株式・為替市場の動向について（12月）

国	株式市場				為替市場			
	株価指数	月末株価	月間騰落額	月間騰落率	通貨単位	月末為替レート(円)	月間騰落額	月間騰落率
シンガポール	ST指数	3,222.83	28.91	0.91%	1シンガポールドル	80.75	0.68	0.85%
マレーシア	KLCI総合指数	1,588.76	27.02	1.73%	1リンギット	26.54	0.30	1.15%
タイ	SET指数	1,579.84	▲10.75	▲0.68%	1バーツ	3.65	0.03	0.83%
フィリピン	フィリピン総合指数	7,815.26	76.30	0.99%	1ペソ	2.14	▲0.01	▲0.44%
インドネシア	ジャカルタ総合指数	6,299.54	287.71	4.79%	100ルピア	0.78	0.01	1.01%
インド	SENSEX指数	41,253.74	459.93	1.13%	1ルピー	1.52	0.00	▲0.28%

出所：Bloomberg

【株式市場】

➤ シンガポール：景気懸念から上値が重く推移

米中貿易協議の長期化により輸出主導のシンガポール経済が低迷するとの懸念が広まり、上げ下げを繰り返しながら横ばいで推移した。下旬には金融緩和期待が投資家心理を支え、シンガポール ST 指数は緩やかに上昇に転じ前月比 0.91% で取引を終了した。

➤ マレーシア：米中部分合意を好感し大きく買い戻し

米中合意の動向の影響を受け、上げ下げを繰り返しながら横ばいで推移。18日、米中合意を好感した東南アジア株の上昇が追い風となり大幅上昇した。その後クリスマス休暇を控え様子見姿勢が広がるも、31日に大幅下落した。マレーシア KLCI 指数は 1.73% で取引終了。

➤ タイ：銀行や観光が下落を主導し年初来安値を更新

米中合意期待から大型株が支えるも、銀行や観光などが下げを主導し大幅下落した。中旬に米中部分合意を好感し大幅反発するも、好材料出し尽くしと見られ反落した。17日に年初来安値を更新した後、緩やかに上昇に転じ、タイ SET 指数は前月比 ▲0.68% で取引を終了した。

➤ フィリピン：海外投資家の売り越しも米中部分合意で持ち直し

上旬は外国人投資家の売り越しがあり下落基調で推移。13日、米中部分合意を好感し大幅反発するも、16日に政府のインフラ支出大幅増加が見込まれ大幅反落。20日に再度大幅反発するも、その後小幅反落するなどフィリピン総合指数は前月比 0.99% で取引を終了。

➤ インドネシア：米中部分合意を好感した海外投資家が買い姿勢

前月の下落基調から一転反発し、海外資金により買い戻された。金融株主導で上昇し、中銀が発表した GDP 回復見通しを受け続伸した。さらに、米中第一段階の合意を好感した外国人投資家が買い姿勢に転じるなど、ジャカルタ総合株価指数は続伸し前月比 4.79% で取引を終了。

➤ インド：景気対策期待から連日史上最高値を更新

上旬、中銀は政策金利の据え置きを決定したことや景気鈍化を受けて下落。中旬は米中協議の進展や景気対策期待を好感し、連日で史上最高値を更新した。国籍法改正案をめぐる抗議デモが投資家心理を冷やし、月末にかけ下落。インド SENSEX 指数は前月比 1.13% で取引を終了した。

【常陽銀行シンガポール駐在員事務所 駐在員 関 貴弘】

アセアン各国ニューストピックス

◎経済

- シンガポール
 - ・企業景況感が改善、2業種の見通し明るく (12/5)
 - ・19年の経済成長率予想、0.7%に上方修正 (12/12)
 - ・東南アジア、20年は5ヶ国で成長加速 米中の影響緩和や個人消費堅調で(12/24)
- マレーシア
 - ・日本の40社が来年に業界参入へ、ハラル公社 (12/13)
 - ・新興5社が社会課題解決事業 ジェトロが支援、3月に資金調達 (12/17)
 - ・20年は景気後退のリスクなし 輸出回復が下支え (12/20)
- タイ
 - ・20年度予算、4ヶ月遅れで執行見通し (12/12)
 - ・EEC投資優遇、21年末までの新制度発表 (12/20)
 - ・パーツ高は来年も続く見通し アナリスト予測、輸出産業に懸念 (12/23)
- インドネシア
 - ・タックスアローワンス、183業種に適用拡大 (12/4)
 - ・森林火災の被害額は52億米ドル、世界銀行発表 (12/12)
 - ・新首都の開発、また一步前進 コンペ受賞3案融合し最終設計へ (12/26)
- フィリピン
 - ・1~9月のFDI認可額3倍 特区向けは3割減、税制改革懸念 (12/9)
 - ・20年度国家予算、大統領署名で1月成立へ (12/26)
- ベトナム
 - ・日越交流「モッタイナイ2019」ハノイで開催 (12/10)
 - ・GDP再算出で25%底上げ 債務の比率改善、公共投資に影響も (12/16)
 - ・海外労働派遣企業の条件強化、労働省が草案 (12/25)

◎その他

- シンガポール
 - ・パスポートなしで出入国、空港でも試験導入 (12/5)
 - ・食料安全保障指数、2年連続で世界1位 (12/11)
 - ・eスポーツの国際団体発足、五輪競技目標 (12/18)
- マレーシア
 - ・国家自動車政策の発表は来年初頭に (12/16)
 - ・マレーシア産原油、11年以来の高値を記録 (12/26)
- タイ
 - ・首都で大気汚染が悪化、PM2.5基準値超え (12/12)
 - ・タイ国王が水上パレード、戴冠祝う (12/13)
 - ・首相など閣僚の不信任案、貢献党が来年提出 (12/19)
- インドネシア
 - ・モナスの爆発で兵士2人が負傷、発煙弾か (12/4)
 - ・首都LRT、商業運転後の乗客伸び悩み (12/26)
- フィリピン
 - ・比地震で死者11人に、1.5万人が避難所生活 (12/20)
 - ・首都圏で水不足深刻化、政府が対策に本腰 (12/26)
- ベトナム
 - ・日本酒の輸出拡大促進、貿易船誘致も (12/13)
 - ・栃木県がベトナム・タイでPR、知事「全力で強化」 (12/19)

(出所：各種新聞、雑誌)

アセアン・インド休日情報

2020年1月

日	月	火	水	木	金	土
			CD JP MY TH IN 1 MM ID SG PH VN	2	3	4 MM
5	6 MM	7 CD	8	9	10	11
12	13 JP	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23 VN	24 VN	IN 25 VN MY PH SG
ID 26 MY	VN SG MY VN SG	27 VN	28 VN	29 VN	30	31

2020年2月

日	月	火	水	木	金	土
						1 MY
2	3	4	5	6	7	8 TH MY
9	10 TH	11 JP	12 MM	13	14	15
16	17	18	19	20	21 ID	22
23 JP	24 JP	25 PH	26	27	28	29

2020年3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2 MM	3	4	5	6	7
8 MM	9 CD MM	10 CD ID	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20 JP	21
22 IN	23	24	25 IN	26	27 MM	28
29	30	31				

※ナショナルホリデーのみ掲載
※祝祭日名省略

出典：ジェトロ各国情報等

- JP 日本 MY マレーシア TH タイ
- SG シンガポール PH フィリピン VN ベトナム
- IN インドネシア MM ミャンマー ID インド
- CD カンボジア

めぶきFGアジアネットワーク

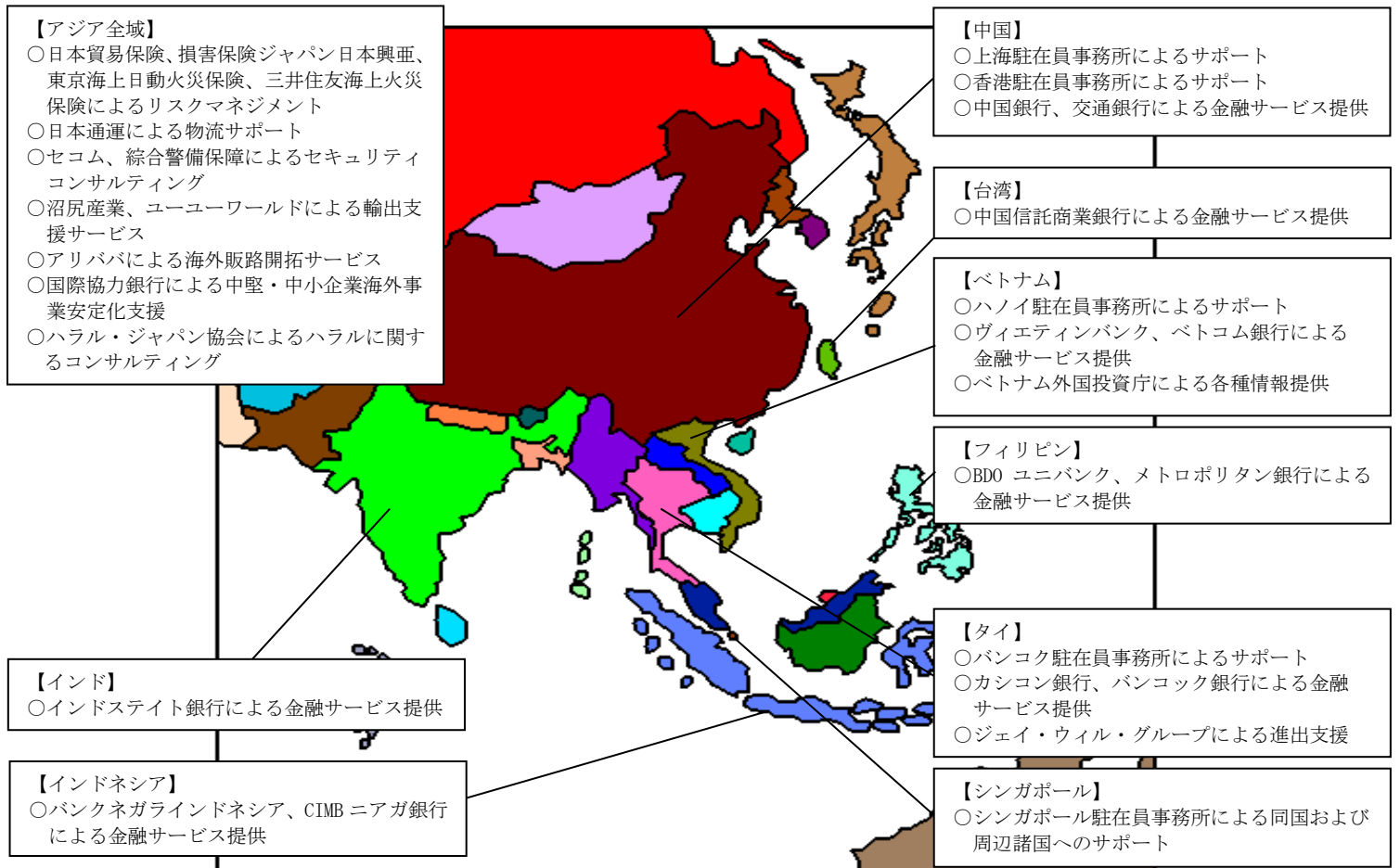
お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

◎業務提携先一覧

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行（中国）	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行（中国）	●		
中国信託商業銀行（台湾）	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行（タイ）	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行（タイ）	●		
バンクネガラインドネシア （インドネシア）	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMB ニアガ銀行 （インドネシア）		●	
ヴィエティンバンク （ベトナム）	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行（ベトナム）	●	●	
ベトナム外国投資庁 （ベトナム）	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDO ユニバンク（フィリピン）	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行 （フィリピン）		●	
インドステイト銀行 （インド）	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バナメックス（メキシコ）	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府ほか（メキシコ）	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構（JETRO）	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構（JICA）	●	●	途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行（JBIC）	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険（NEXI）	●	●	輸出取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供
損保ジャパン日本興亜	●	●	リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供
三井住友海上火災保険	●	●	各種損害保険の提供
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供
総合警備保障	●		海外セキュリティサービスの提供

◎めぶきFG海外駐在員事務所

常陽銀行シンガポール駐在員事務所	63 Market Street, #11-03 Bank of Singapore Centre Singapore 048942 TEL:+65-6225-6543
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam TEL:+84-24-3218-1668
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 1901 室 TEL:+86-21-6209-0258
常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 TEL:+1-347-686-8420
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong TEL:+852-2251-9475
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraj Tower at Emquartier, 27th Floor, Room No. 2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok, Thailand 10110 TEL:+66-2-261-2852



めぶきFGイベント情報

【FBC バンコク 2020 ものづくり商談会】

日程	2020年5月13日(水)～16日(土) 10:00～18:00 (4日間)
開催国	タイ：バンコク
会場	BITEC Hall 100
概要	<p>共催団体のお取引先企業など 150 社 (予定)</p> <p>タイでの部材調達や販路拡大を目的とする製造関連企業・製造関連企業にサービスや製品を提供するソリューション企業を対象とした商談会です。</p> <p>出展各社が登録する調達・販売案件を基に、web上で商談の事前申込とマッチングを行うことにより、会期中に計画的、効率的な商談が可能です。</p> <p>大手製造業と直接商談を行うビッグパイヤーズエリアを設置。大手企業に対して販売申込みができるチャンスを提供します。</p> <p>申込期限：2020年2月14日(金)</p>
URL	https://fbcbkk.factorynetasia.com/main/content/jp/guide
照会先	足利銀行バンコク駐在員事務所 TEL +66-2-261-2852